

平成 25 年度日本鉱物科学会論文賞第 15 回受賞者

Shunsuke ENDO and Simon R. WALLIS

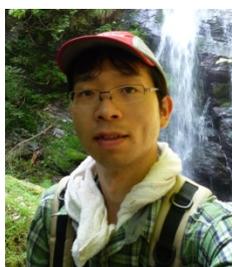
High-pressure garnet amphibolite from the Funaokayama unit, western Kii Peninsula and the extent of eclogite facies metamorphism in the Sanbagawa belt. *Journal of Mineralogical and Petrological Sciences*, 108-4, 189-200, 2013

#### 推薦理由

本論文は、紀伊半島の三波川帯に産するザクロ石角閃岩の変成-変形履歴を解析し、新たにエクロジヤイト相を経験した高压の証拠を見いだしたものである。高压変成岩では、上昇時の後退変成作用により、沈み込みに関連した累進変成作用ならびに変成ピークの証拠が消滅していることが多いが、本論文ではザクロ石中の包有物の解析から、ザクロ石角閃岩がエクロジヤイト相に相当する変成作用を経験したことを示した。また、変形作用との関連では、ザクロ石中の包有物の螺旋状組織にみられる累進変成時の流動変形と、後退変成時の片理面を形成した再結晶を主体とする変形との2つのステージに分類し、変形-変成作用とテクトニクスとの関係を推定している。これらのことから、三波川変成帯のエクロジヤイト相に相当する高変成度の領域は、四国中央部から紀伊半島に延びることになり、白亜紀において海洋プレート沈み込み後に大規模な高压変成岩の上昇が起こったことが示唆された。本論文は、ザクロ石の包有物を含む詳細な岩石学的研究から、三波川変成帯全体の理解に貢献しており、日本鉱物科学会論文賞にふさわしい内容をもつものと判断し、受賞対象論文として推薦する。

#### 受賞者

遠藤 俊祐 会員



Simon R. WALLIS 会員



遠藤 俊祐 会員の略歴  
2006年 3月 名古屋大学理学部地球惑星科学科卒業  
2008年 3月 名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程修了  
2010年12月 名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程短縮修了  
2011年 1月 名古屋大学大学院環境学研究科 学振PD  
2012年 4月 産業技術総合研究所 博士研究員  
2014年 4月 産業技術総合研究所 研究員  
2014年 9月 現在に至る

Simon R. WALLIS 会員の略歴  
1983年 6月 Oxford University, Department of Geology and Mineralogy 卒業  
1988年 4月 Oxford University, Department of Earth Sciences, D. Phil (博士号)取得  
1988年 9月 京都大学地質鉱物学教室 日本学術振興会/ヨーロッパ共同体PD  
1992年 1月 フランス商業銀行 デイラー  
1994年 6月 京都大学 助手  
2001年 1月 名古屋大学理学研究科後、環境学研究科助(准)教授  
2011年 6月 名古屋大学 環境学研究科 教授  
2014年 9月 現在に至る